

SUZUKA UNIVERSITY LIBRARY NEWS

2024 年度
8 月号

こんにちは。附属図書館です。

猛暑の毎日が続いていますが、体調を崩されたりはしていませんか。

暑くて外に出るのが嫌だな・・・と思う日は、涼しい図書館でゆっくり本を読んでみてはいかがでしょうか。

夏休み中も図書館は開いていますよ。ぜひ、お立ち寄りください。



図書館からのお知らせ

[絵本] について

図書館の2階には、幼稚園教諭や保育士を目指す皆さんのために、絵本コーナーが設置されています。

自分たちが子供の頃に読んでいた懐かしい絵本から、新しい絵本、そして大型の絵本など、たくさん配架しています。外国語の絵本もありますよ。

紙芝居などもありますので、実習などでご活用ください。



[お知らせ]

* 8月1日(木)～9月13日(金)まで、夏休み期間中のため午後5時閉館です。

* 8月10日(土)～8月18日(日)まで、夏季休暇のため休館します。

* 9月14日(土)～9月30日(月)まで、蔵書点検実施のため休館します。

今月の展示コーナー

いろんな感性が溢れています！！

- ・ 鈴鹿大学/こども教育学部
- ・ 鈴鹿大学短期大学部/こども学専攻

生徒たちによる<造形作品展>



今月の展示コーナーのテーマは

[キャリア教育] 試験対策シリーズ

↓ 合格目指して頑張ってください！！



新着本

ぼくはいったいどこにいるんだ
ヨシタケシンスケ/ブロンズ新社



いろんなことを地図に
してみるとわかることがある。
自分はどこにいるのか
このあとどうしたいのか、
なにがだいじなのか・・・

ヨシタケシンスケ流、頭と心の整理整頓。
自分がどこにいるのかを、場所の地図だけで
なく、心の地図、時の地図でも表現しようとい
う発想。

勘違いが人を動かす
教養としての行動経済学入門

エヴァ・ファン・デン・ブルック
ティム・デン・ハイヤー/ダイヤモンド社

人が不合理な行動をとる原因と
対策が書かれています。

「認知バイアス」を利用して、
うまく人を動かす方法や良い習慣を人間の脳が
持つ「認知バイアス」の事例を紹介しながら、身に
つける方法など、実際の生活の中で役に立つこと、
気をつけるべきことなどを学ぶことができます。
ジャケットの「い」のところにいるハエの意味も
興味深いですね。





「空への手紙」 / 福田素子

こども教育学部准教授 犬飼 和夫

私は以前、病院の中にある学校で教員をしていました。小児病棟に入院している小中学生を教えていたのです。当時の文部省教科調査官から、講談社の「BE LOVE ブライダル」という雑誌を紹介されて読んだのが「空への手紙」でした。誌名からもわかるように女性向けの漫画雑誌でした。病院内学級の教師となった陽子先生。入院している子供たちは病と闘いながら、陽子先生が待っている教室へ通っています。ひとりの子供の病状が悪化します。陽子先生は初めてのことにショックを受けますが……。子供たちが遠足に行きたがります。陽子先生はなんとか実現させようと努力しますが……。陽子先生が妊娠します。産休を早めるよう勧められる陽子先生ですが、子供たちから離れたくない……。明るい子供たちに陽子先生は勇気づけられ、命の尊さと子供たちにとっての教育の意義を知っていきます。

「空への手紙」は1996～2000年の間、雑誌で連載されました。1999年には、有森也実さん主演によりTBSでドラマ化もされています。この本では、実際に入院している子供たちの生活の様子や悩み、保護者の悩みや、はじめて院内学級の担任になった先生の戸惑い等がとてもリアルに描かれています。それもそのはずで、実際の教育現場での経験がある教科調査官がかかわっておられたのです。また著者の福田素子さんというのは夫婦のペンネームで、お二人で執筆されていたのです。雑誌連載終了後に講談社漫画文庫になりましたが、最近ジヤース教育新社からも順次出版されています。私も「空先生」のように子供たちと病気のことを忘れて、いや忘れてくても目の前のことに一生懸命取り組んでいました。

「あなたを変える行動経済学-よりよい意思決定・行動をめざして-」 / 大竹文雄

国際地域学部講師 渡辺 敏明

学生みなさんにはこんな経験はありませんか？授業の課題をできるだけ早く終わらせたいと思っているのに、課題以外のことに夢中になってしまい、課題に取りかかるのが先延ばしになる。映画館で観ている映画がとてもつまらない。しかし、映画の途中で映画館を出るのは入場料金もったいないので、つまらない映画だけど最後まで鑑賞し続ける。これらの行動は多くの人が陥りやすい癖のようなもので、行動経済学の主要な論点です。

経済学は、自身の満足度を最大化するために、計算高くかつ合理的に行動する人間像を前提としています。一方、行動経済学は経済学と心理学が結びついた学問です。人間は必ずしも合理的に行動しているわけではなく、頭の中ではわかっているつもりでも計画どおりに実行できず、不完全な計算能力や情報のもとで意思決定をおこなう人間を前提としています。授業の課題は早く終わらせるのが合理的なのに、現在の楽しみを優先してしまうのは「現在バイアス」と言います。心当たりがあるという人がいるのでしょうか。映画の例は「サンクコスト(埋没費用)」と言われます。支払った入場料金は戻ってこない(サンクコスト)ので、つまらない映画を鑑賞し続けなくて、映画館から出て楽しいことをするのが合理的ですが、それがなかなか難しい。私たちの行動の合理性は限定的と言えそうです。

おすすめする本書は行動経済学の入門書です。前述したような行動経済学の考え方とその応用例がわかりやすい言葉で解説されています。この本を読むと、行動経済学の考え方は私たちの身近なものだと気がかされます。行動経済学の考え方は、周囲の人たちの行動への興味関心がより大きなものになり、貴重な洞察を提供してくれるのではないのでしょうか。興味を持った人は一読ください。